

大野君を偲ぶ

原田義則(3組)

大野正廣君(3組、丸子町出身、上尾市在住)が1月20日に亡くなられたことを奥様からの喪中はがきで知りました。

昨年(2023年)の10月末には相当体調が悪かったらしく、親しくしていた上原昇君(2組)や成澤文和君(4組)と私に入院する旨の電話をくれました。その後、私はSMSでもちょっと遣り取りし、「前向きに頑張っています」と返信して貰っていたのですが。

大野君との間には思い出がたくさんあります。

大野君は2年生の時、昭和40年後期の生徒会長を務めたのですが、選挙運動に協力したり、その後は図書委員長として彼の活動を支援するなど親しい付き合いをさせて貰いました。また、(今ではもう喋っても良い事でしょうが)彼が慶応大学に在学中の期末試験で替え玉受験を他大学に在学中の数学に強い3組の同級生(名前は伏せます)に頼んで見事パスしたことを話してくれました。大塚製薬(株)に入社した後も付き合いが継続しました。大塚製薬(株)は点滴薬などで高いシェアを持っているのでそれに糖分を加えた飲料をスポーツ飲料「ポカリスエット」として売り出すこととしたのですが、市場に出す前の市場調査と知名度向上のために土曜・日曜の朝早く開催されている「早起き野球」の会場にそれを大量に持ち込んで配りまくった話を面白おかしく話してくれました。彼が大塚製薬(株)を退職後、関連企業の研究所の責任者を務めていた時には、短時間でしたが私とはビジネスパートナーであった期間もありました。

今この文章を書いている最中にも数々の思い出が蘇ります。年賀状の遣り取りは続けていましたが、直接会う機会は10年来なかったことが、甚だ残念です。安らかにお休みください。 合掌

2023年11月20日 記



昭和40年後期生徒会役員集合写真 最前列中央に大野君